

2017年3月1日  
ソフトバンク・テクノロジー株式会社

## 3月以降のプレミアムフライデー、月末の金曜日以外も対象日にすることを決定 初回プレミアムフライデーは対象者の半数以上が「早上がり」を実施、一方で多くの課題も見つかる

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿多 親市、以下 SBT）は、2017年2月24日（金）より開始した「プレミアムフライデー」を独自に応用し、2017年3月以降は月末金曜日の15時退社をベースとしながらも、繁忙期や飛び石連休などを考慮して運用することを決定しましたので、お知らせいたします。

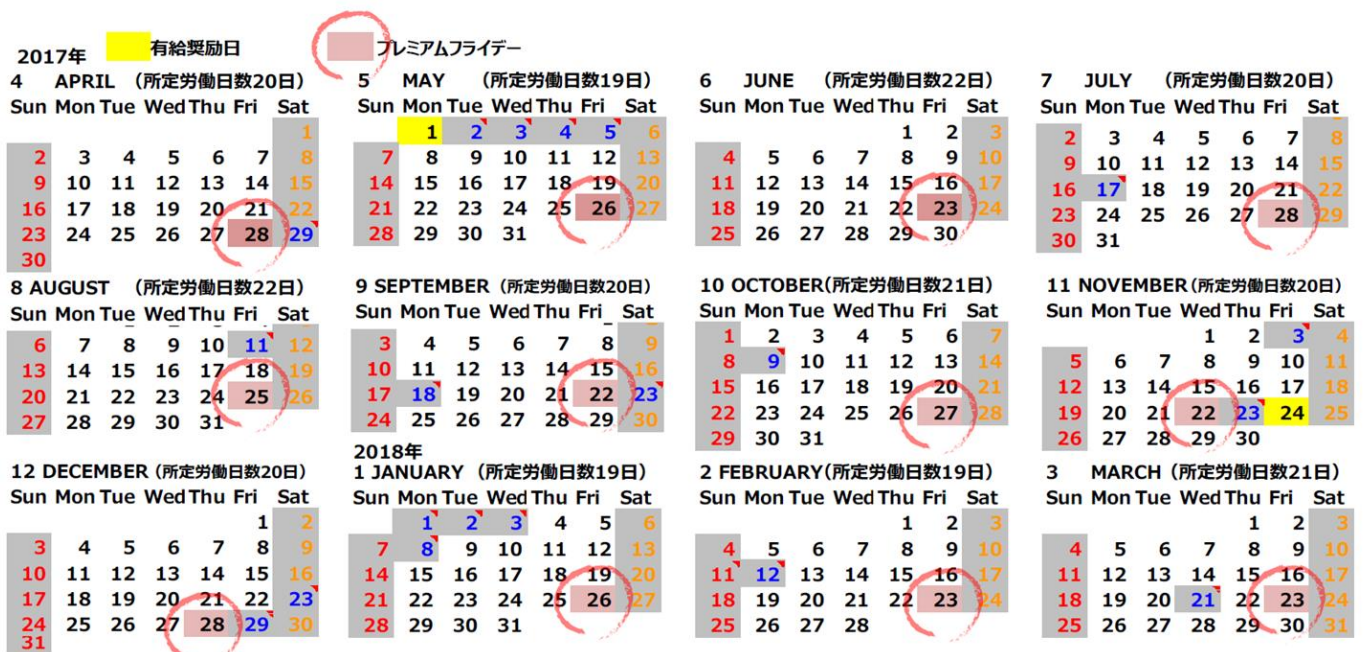


また、プレミアムフライデー初回実施後に社員アンケートを行い、制度運用についての課題も確認できました。社員が本制度を利用しやすい環境を整えることを目指し、これらの課題についても継続的に検討を行ってまいります。

### 第2回プレミアムフライデーは3月24日に決定、独自の運用でワークライフバランス最適化を推進

SBTでは、「社員一人一人が豊かな人生を過ごすことができる」をテーマに、社員が心身の健康を保ち、仕事にやりがいを持つことで、社員一人一人が生き生きと活躍し、技術の力で新しい付加価値を創出することを目的に働き方改革を推進しています。長時間労働の是正や効率的で柔軟な働き方を支援する制度拡充を推進する中で、ワークライフバランス推進の一環として、2017年2月1日にプレミアムフライデーの導入と、2017年2月24日（金）の初回実施を決定しました。

その後、SBTのビジネスモデルや「有給休暇奨励日」など従来からの制度も考慮し、2017年3月および来年度のプレミアムフライデー運用方針を検討した結果、月末金曜日をベースとしながらも、月末金曜日以外にも15時退社日を設置することを決定しました。次回は、2017年3月24日（金）を15時退社日とします。来年度は、下記カレンダーのとおり運用する計画です。



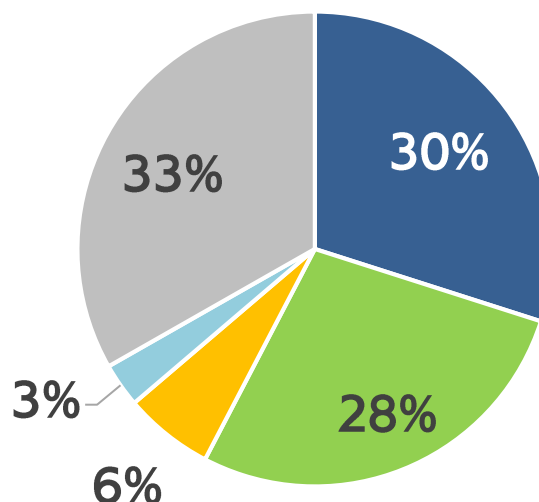
## 第1回プレミアムフライデーの実施状況と今後の課題

SBTにおける2017年2月24日（金）の第1回プレミアムフライデーは、全社員の3割程度が15時台に退社し、5割程度が18時までに退社しました。組織別では、営業部門と管理部門の4割程度が15時台に退社しました。技術部門やサービス部門では、2割程度が15時台に退社しました。

また、対象者となる全社員にプレミアムフライデーに関するアンケート調査を行った結果、6割程度の社員が、自宅でゆっくり過ごす、食事・ショッピングにプレミアムフライデーを活用していました。（回答者数361名）

### 退社後の過ごし方

- 自宅でゆっくり
- 食事・ショッピング
- レジャー・旅行
- 自己啓発
- 18時以降の退社だった



その一方で、「1か月前の告知だったため、既にお客様とアポイントがあった」といった初回ならではの課題や、「運用やサポート業務のため、お客様もプレミアムフライデーを導入していないと15時退社が難しい」「15時に退社後、社員やお客様からの問い合わせがあり業務対応が発生した」「プロジェクトマネージャーなので外部パートナーもプレミアムフライデーを導入していないと帰れない」など、業務内容や会社のステークホルダーが関係する課題について多くの意見が集まりました。

今回のアンケートで社員から集めたリクエストや課題について継続的に対応策を検討し、社員が使いやすい制度として改善や工夫を重ねるとともに、社員の働き方に関する意識改革や効率化・生産性向上に取り組んでいく予定です。

SBTでは、引き続き、従業員を含むSBTのステークホルダーに対して、価値のある働き方改革を推進してまいります。

※ 本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

### ソフトバンク・テクノロジー株式会社

SBTは、「情報革命で人々を幸せに～技術の力で、未来をつくる～」という理念のもと、大きく成長することを目標に掲げ、クラウドとIoTに注力しているICT企業です。M&Aや従業員の拡大を推進し、3年前と比較して従業員は2倍の900名を超え、SBTグループは国内8社体制まで拡大しました。コーポレートスローガン「One! SBT」のもと、SBTグループが一丸となり、今後も付加価値の高いICTサービスの提供を通じて、お客様のビジネスに貢献してまいります。



#### 報道関係者様向け お問い合わせ窓口

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 管理本部 経営企画部 コーポレートコミュニケーショングループ 齊藤、皆口、吉田  
TEL : 03-6892-3063 Email : [sbt-pr@tech.softbank.co.jp](mailto:sbt-pr@tech.softbank.co.jp)

本ドキュメントでは、フォントワークス株式会社のフォント[UD角ゴ ラージ Pro]を使用しています。

## ご参考：SBT のワークライフバランス推進に関する取り組み

---

### ■定時退社デーの導入

退社後のプライベートな時間の充実や、健康的な日常生活を過ごしてもらうために、週に一度、毎週水曜日に定時退社デーを設けています。その他の取り組みの成果もあり、全社平均の残業時間は2015年度が約42時間、2016年度が約31時間（見込み）と10時間以上の削減となる予定です。

### ■有給休暇取得奨励日の導入

社員が有給休暇を取得しやすい職場環境を整え、ゆっくり友人・家族等と過ごせるように、火曜・木曜が祝日の場合など、休暇を取得することで連休となる日（月曜・金曜）を、有給休暇取得奨励日として設定しています。

### ■能力開発休暇

会社として組織を成長させるためには個人の成長が不可欠と考え、資格取得のための勉強や資格受験日などに、年5日まで有給休暇を取得できます。

### ■アニバーサリー休暇

年1日、本人や家族の誕生日、結婚記念日などの記念日に有給休暇を取得できます。

### ■リフレッシュ休暇

勤続5年毎に連続5日間の有給休暇を取得できます。

### ■ファミリーデーの開催

社員の家族に職場訪問を通じて仕事に対する理解を深めてもらうと共に、社員同士の交流を通じたコミュニケーションの活性化を目的として、オフィス見学や家族紹介などを行うファミリーデーを年に1度開催しています。

### ■出産祝金制度

少子化問題に企業として取り組み、社員が子どもを産み育てやすくするための施策として、正社員を対象に、第1子5万円、第2子10万円、第3子以降100万円の出産祝金を支給しています。（※勤続1年未満の場合は、別条件が該当）

### ■キッズ&看護午前半日休暇

子どもの体調不良のケアなど家族に関連する所定のイベントで勤務が難しい場合、1年度につき午前半休（有給休暇）を12回まで取得できます。

### ■育児支援の拡充策

育児休業終了日の5労働日前から休業終了の日までの期間は有給とし、男性の育休取得を推進しています。

また、最長で子どもの2歳の誕生日の前日まで育児休業を取得することができます。（※勤続1年未満など適用除外あり）